

「下水処理場における N₂O 排出量削減技術に関する共同研究」

の共同研究者募集について

下記のとおり共同研究者を公募しますので、関心のある自治体、企業、団体の方は下記問合せ先（担当者）までご連絡ください。

記

1. 研究概要

(1) 名称

下水処理場における N₂O 排出量削減技術に関する共同研究

(2) 背景

下水道における脱炭素化は喫緊の課題です。

公益財団法人日本下水道新技術機構では、これまで省エネ技術や創エネ技術について技術マニュアルや技術資料として取りまとめてきました。このような取り組みにおいては、下水処理場のエネルギーに関する地球温暖化ガス排出量削減を対象として来ました。

しかしながら、汚泥焼却炉から排出される N₂O は、CO₂ の約 300 倍の温暖化効果があるとされており、下水道から排出される地球温暖化ガスの約 2 割を占めています。地球温暖化ガス排出量削減、ひいてはカーボンニュートラル達成のためには、汚泥焼却炉からの N₂O 排出量の削減が非常に重要です。これまで、高温焼却の実施や新型炉の導入が図られてきましたが、必ずしも十分な効果を上げていないのが実情です。

(3) 目的

下水処理施設における N₂O 排出量削減技術について、技術資料として取りまとめます。

(4) 研究内容

① 運転管理による N₂O 排出量削減技術

高温焼却など、運転管理による N₂O 排出量削減技術を整理するとともに、高温焼却に対応していない原因を整理し、対策を提示します。

② 施設の改修による N₂O 排出量削減技術

既設の焼却炉に施設を付加することによる N₂O 排出量削減技術を整理し、施工、運転段階における留意事項等を整理します。

③ 新型炉による N₂O 排出量削減技術

N₂O 排出量削減技術として開発された新型焼却炉について技術内容を整理し、導入条件、留意点等を整理します。

④ その他の N₂O 排出量削減技術

焼却炉に関わらず、下水処理場から発生する N₂O 排出量削減技術について、技術内容を整理し、導入条件、留意点等を整理します。

(5) 研究期間

令和 4 年 8 月～令和 5 年 12 月

2. 募集期間

令和 4 年 7 月 29 日（金）正午まで

3. 共同研究者

① 下水汚泥焼却炉の開発・納入実績がある企業・団体

② 下水処理場の計画・設計の実績がある企業・団体

③ 下水処理場の運転・管理の実績がある企業・団体

なお、上記に該当する方には、一つ以上の業務実績又は技術・知識を有することを確認できる書類の提出をお願いします。

4. 問合せ先（担当者）

公益財団法人日本下水道新技術機構 資源循環研究部 秋吉、後藤、蓮見、藤本

TEL : 03-5228-6541 FAX : 03-5228-6512

E-mail : h-akiyoshi@jiwet.or.jp, h-gotou@jiwet.or.jp, s-hasumi@jiwet.or.jp,

h-fujimoto@jiwet.or.jp,